

平成30年度
富山県看護職員職場定着支援事業報告書

平成31年3月

富山県厚生部医務課

はじめに

近年の看護を取り巻く状況は、医療の高度化・専門分化に加えて、入院期間の短縮化や高齢化などに伴い、多様化、複雑化しており、これらの課題に適切に対応していくため、看護職員には、高い資質と看護実践能力の向上が求められています。

そのような中、平成 21 年度に、保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律が改正され、平成 22 年度から新たに業務に従事する看護職員の臨床研修等が努力義務となり、「新人看護職員研修ガイドライン」が作成されました。その後、医療現場等の状況や看護基礎教育の見直し等の諸事情や研修成果を勘案し、平成 26 年 2 月には新人看護職員研修ガイドラインの見直しに関する検討会報告書及び新人看護職員ガイドライン改訂版が示されたところです。

また、看護職員をはじめとする医師、薬剤師などの医療スタッフが健康で安心して働ける環境を整備するため、平成 25 年 2 月に「医療分野の『雇用の質』向上プロジェクトチーム報告」が取りまとめられ、各医療機関が自主的に取組む「雇用の質」向上に向けた取組みが推進されてきました。

さらに、平成 26 年 10 月に医療法が改正され、医療機関における勤務環境の改善のための取組みが努力義務となりました。

こうした状況をふまえ、県では、平成 27 年 2 月に、「富山県医療勤務環境改善支援センター」を開設し、医師・看護師等の医療スタッフが健康で安心して働き続けられるよう、労務管理と医業経営の面から医療機関の取組みを総合的に支援しています。

また、看護職員が看護を通してやりがいと喜びを感じ、いきいきと働き続けることができるように、看護職員の職場定着支援対策を一層充実・強化し、新人を対象とした新卒看護職員研修会、免許取得後 3～5 年未満を対象とした若手看護職員の研修会・交流会の実施などさまざまな事業に取り組んでいます。特に、病院における看護職員の育成や看護実践能力向上、職場への定着を図ることを目的として実施している「看護職員育成モデル病院事業」では、モデル病院において、看護師の育成上の課題を整理し、目指す看護の実践に向けた環境づくりや業務の改善など働きやすい職場づくりに取り組まれています。このほか、新人看護職員をサポートする指導者に対する研修については、病院においてより効果的に実施できるように、研修責任者、教育担当者、実地指導者の対象者別の研修を実施しています。

このたび、これらの実施状況を「富山県看護職員職場定着支援事業」として、取りまとめましたので報告いたします。

平成 31 年 3 月

目 次

I	看護職員育成モデル病院事業の概要	
	看護職員育成モデル病院事業実施要綱	1
	外部支援者	3
II	看護職員育成モデル病院事業報告	
1	各モデル病院からの報告	
	「看護職員育成モデル病院事業報告」	4
	富山県済生会富山病院	
	「看護職員育成モデル病院事業参加報告」	14
	黒部温泉病院	
2	支援者の感想	30
III	新卒看護職員研修会	33
IV	若手看護職員研修会・交流会	44
V	新人看護職員指導者研修会	53